

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [二宮尊徳伝 \(1\)](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)

二宮尊徳伝 (1)

金次郎は1787年7月23日、小田原の裕福な農家の長男として生まれました。父母ともたいへんな篤志家で、困った人から何かを頼まれると嫌だとは言えないお人好しだったそうです。父は百姓に似合わない無類の勉強家で、幼い金次郎に手習いを教えました。何不自由なく暮らしていたが、暴風雨で堤防が決壊し、田畑を流されてから生活が一変します。体の弱かった父親は、復旧作業の無理がたたって寝込んでしまい、金次郎は父親の代わりに堤防の改修作業に出たり、近所の家の手伝いや子守をして家計を助けます。金次郎5歳の時でした。

金次郎14歳の時、父親が亡くなります。一家の貧乏のどん底の時であり、その体験は金次郎に貧乏の辛さ、惨めさを骨の髄まで染みこませました。母と死別したのが16歳の時。2人の弟は母方の親戚に引き取られ、金次郎は隣に住む伯父さんの家で暮らすこととなります。居候の金次郎にとっては居心地の悪い生活でした。夜になって行灯の明かりで読書していると「百姓には学問はいらない。だいいち油がもったいない」と叱られます。

金次郎はそれに負けず、伯父宅の油を使えないのなら、自分の油を作ろうと工夫しました。友人からひと握りの菜種をもらい、近くの川土手にそれを植えさせます。やがて育ってきた油菜を取り、油屋で油に交換して、夜の読書続けました。また同じ頃、近所の人々が田植えの時に使い残した捨て苗を拾い、それを家の近くの水溜りに植え付けて、1俵余りの米を収穫したりもしました。

このふたつの出来事は金次郎にとって大きな発見でした。天地自然の恵みと厳しさ、その中で生きる人間のあり方、人間が幸せに生きていくために人間は自然とどうかかわるべきか、人間同士はどうあるべきか、これがその後の金次郎の生涯を通してのテーマとなっていきます。

[\(2\) に続く](#)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

[教育カリキュラム](#)

[日本国憲法](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[▶ キーワード検索はこちら](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.